

## 登米市総合教育会議 会議録

会議の名称	第15回登米市総合教育会議	
開催日時	令和5年10月10日(火)	
	午前9時00分 開会	
	午前9時45分 閉会	
開催場所	登米市役所 3階 第2委員会室	
出席者 氏名	市長	熊谷 盛廣
	教育長	小野寺 文晃
	教育長職務代理者	畠山 信弘
	教育委員	大久保 芳彦
	教育委員	佐竹 美香
	教育委員	須藤 勝子
欠席者	小野寺 範子	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長	阿部 桂一
	政策推進室長	小野寺 憲司
	教育部長	小林 和仁
	教育部次長兼教育総務課長	阿部 信広
	教育部次長兼学校教育管理監	飯川 弘芳
	生涯学習課長	守屋 乃扶子
	迫図書館長	及川 幸記
	生涯学習課課長補佐兼生涯学習推進係長	佐々木 俊樹
	生涯学習課生涯学習推進係	伊東 智
書記	市長公室室長補佐	松井 満
	教育総務課 課長補佐	千葉 敬子
議題	登米市図書館構想について	

<p>議題・ 発言</p>	<p>(司会) 阿部次長兼教育総務課長</p> <p>熊谷市長</p> <p>(司会) 阿部次長兼教育総務課長</p> <p>(議長) 熊谷市長</p> <p>守屋生涯学習課長</p> <p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>定刻となりましたので、ただいまから、第15回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午前9時00分といたします。</p> <p>本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項第1号で教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた協議、学術及び文化の振興を図るために重点的に構すべき施策について総合教育会議で協議や調整をすることとなっています。</p> <p>本日は、教育委員会の機関決定を控える登米市図書館構想について、「登米市の未来を創る 学びと交流の拠点」の実現するため、市長と教育委員会と意見交換を行い、図書館整備に対する考え方の共通認識を図る会議でございます。</p> <p>はじめに、市長から開会のご挨拶をお願いします。</p> <p>ご苦労さまでございます。</p> <p>第15回登米市総合教育会議のご案内を差し上げましたところ、教育委員の皆様方、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、感謝申し上げます。</p> <p>登米市図書館構想については、構想案に対する市民からの意見公募が終了し、今後、教育委員会で図書館構想の機関決定がなされます。意思決定前に、教育委員皆様方と図書館の整備方針について確認する場を持ちたいと思い、お集まりをいただきました。</p> <p>構想の見直しにあたり、教育委員の皆様方には、これまで先進事例の視察や市民ワークショップに関わっていただき、検討の推移を見守り、ご助言をいただきありがとうございました。</p> <p>本日は、整備方針について、ご意見、お考えをお聞かせをいただき、登米市の図書館像を共有し、整備の参考にしたいと考えております。</p> <p>市民の皆様方に親しまれる愛される、そして登米市らしい図書館を作りたいと考えておりますので、どうぞよろしくご意見を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりまして、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p> <p>それでは早速議題に沿って会議を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>登米市図書館構想についてを議題といたします。事務局から図書館構想素案について説明をいただきます。</p> <p>(資料1、資料2に基づき説明)</p> <p>ただいま、事務局から「登米市図書館構想(素案)」について説明いただきました。</p> <p>委員の皆様方から、新図書館整備に関する基本的な考え方についてご意見をお伺いしたいと思っております。</p>
-------------------	---	--

<p>議題・ 発言</p>	<p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>はじめに畠山教育長職務代理者からお願いいたします。</p>
	<p>畠山委員</p>	<p>おはようございます。</p> <p>私に割り当てられた項目は、新図書館の規模と、新図書館の整備場所について、この2カ点について、私の考えをお話申し上げます。</p> <p>平成27年度に構想が作られ、その後、令和5年度に、アンケートをもとに新しい構想が作られました。これを見て、非常に大きな変化とともに、登米市に見合った新しい図書館が計画されてきたなと感じました。</p> <p>図書館の規模についてですが、これまでの登米市の図書館3館の合計面積が、迫・中田・登米を合わせても1,200㎡程の図書館でございます。それが約3,500㎡に拡大され、新しい図書館への期待が今非常に大きいですし、これから文化活動での図書館の役割の大きさを感じ取ることができました。</p> <p>そして、計画段階でも、文科省等の関連法案に基づいて数値の算定をされており、蔵書の冊数、開架冊数或いは閉架も合わせて非常に登米市に見合った、これからの将来に向かって活動できる立派な図書館に計画されていると思います。</p> <p>規模に入るんですけども、職員数も大事なことで、公立図書館の任務と目標、日本図書館協会では、職員数の規模も示してあるので、サービス向上を目指すには、その点も規模の一つに、きちんと加えていただければと思います。以上でございます。</p>
	<p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>畠山職務代理者からご意見を伺いました。次に、大久保委員からお願いします。</p>
	<p>大久保委員</p>	<p>私に与えられた課題は、建築の基本的な考え方ですが、私はこの素案に対して賛成です。</p> <p>一つは、地元産材を積極的に活用して、全体的に木のぬくもりが感じられるデザイン。登米市は森林がたくさんあります。国連の持続可能な開発目標の17項目の一つとして、陸の豊かさを守ろうと掲げておりますので、できれば国際機関FSCの認証を受けて、認証材を使ってもらいたいという希望です。</p> <p>JAみやぎ登米の本店の新築の際に、市内4つの森林組合、それと個人の所有で作る森林管理協議会が、認証材の生産から加工まで手がけたと聞いております。</p> <p>ただ木は生き物ですので、工事期間によっては工期が間に合わない可能性もあります。事前発注もやむを得ないという考え方の中で、地元の森林を生かすことで、産業の活性化に繋がっていくと思いますので、できればそういった方向で進めてもらい、ただし予算に限りがあると思います。準ずる形でも結構ですので、しっかり地元産材を使った建物にさせていただきたいと思います。それが癒しの空間にも繋がってくるのかなと考え、私の考え方は基本的に素案に賛成でございます。</p> <p>それから、もう一つの課題の複合化について、パブリックコメントでも意見が寄せられております。まず人が寄らないと何も始ま</p>

<p>議題・ 発言</p>		<p>らない。図書館単体での整備はなかなか難しいので、私は基本的に、複合化に賛成です。非常に中身が厳しいご意見もありますが、方向性としては総じてよろしいかと思えます。以上です。</p>
	<p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>はいありがとうございました。 今の大久保委員のお話に対して、事務局補足説明等ありますか。</p>
	<p>小林教育部長</p>	<p>大久保委員から、建築の考え方と複合化についてご意見いただきました。具体を今後進めていくこととなりますが、当然SDGsの考え方なり、特に公共施設の地元産材の活用についてはしっかり考えていかなければならないととらえております。また、複合化についても、今、地域交流センターの様々な内容について、どう進めていくかも含め検討している段階です。そういった意見も、とらえながら検討していきたいと考えております。</p>
	<p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>次に、佐竹委員お願いします。</p>
	<p>佐竹委員</p>	<p>私からは、図書館機能の一元化と、サービスの充実についての意見です。資料の中に、図書館機能の一元化サービスの充実を図ることが列記されていますが、それは難しいことで実現可能なものでなければ、市民は活用しにくい社会になってしまうのではないかと考えております。</p> <p>現在の登米市の人口を考えると高齢者の人口比率が多く、日中の図書館利用も高齢者の方が多現状だと思えます。現在3館ある中で、地域に根差して活用され開かれている図書館もあると思えます。自分の足で活用していた子供達が、急に図書館が1ヶ所になった時、子供達が足を運ぶ頻度が少なくなると、ますます読書離れが進んでいくのではと心配しております。そのような中で、機能を新図書館にすべて一元化して、デジタル技術を活用したサービスが本当に浸透していくのかどうか。少々疑問に感じているところもあります。</p> <p>この市民のニーズや時代の変化、図書館の必要性は、先ほどからお話ありました迫図書館の老朽化の現状から考えると、新図書館の建設が必要と考えます。ただ、市民が活用できる図書館を考えた時に、それが1番が良い方向なのかどうかという検討をお願いしたいと思えます。</p> <p>新図書館は登米市の拠点となって、それぞれの旧町公民館等施設との支援連携が必要なのではないかと考えております。いつでもどこでもサービスが受けられる体制が良いのではないかと考えております。各町域をまとめ市独自の旧町をつなぐネットワーク体制を構築していけると理想なのではないかと思えます。</p> <p>そういった中で一元化していく新図書館建設に向けて、運営する前の人材育成をお願いしたいと思います。現在、図書館勤務されている職員の方々の意見や要望をあまり聞いたことがなかったので、そういう方たちの意見要望も取り入れながら、今の現状の負担や不安を解消していただきたいと思えます。</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>(議長) 熊谷市長</p> <p>小林教育部長</p> <p>(議長) 熊谷市長</p> <p>須藤委員</p>	<p>今後、建設と同時進行となると、業務負担がかなり大きくなるのではないかと考えられますので、業務負担の低減もお願いしたいと 思います。今後の人材育成も視野に入れながら、職員の増員や市民 ボランティア団体との連携も、必要なのではないかなと考えます。 もう一つ、施設の複合化についてですが、新図書館は市民の拠り 所として、市民の知的好奇心をくすぐるような場所になって欲しい と思っております。以前アンケートの中で登米市は知的水準に関する 意見が書かれていたので、複合化していくのであれば、登米市の 文化を継承していけるような施設が良いのではないかと考えます。 ただ、どのような施設と複合化するかによっては、図書館機能を 損なわれぬようにしていただきたいです。</p> <p>ありがとうございました。 それでは、今の佐竹委員のお話について、事務局からありますか。</p> <p>機能の一元化とサービスの充実、複合化についてご意見いただき ました。まさに、委員のお話の通り、新図書館整備によってサービ スが低下するということではいけないと思っております。 新しい図書館が、市の拠点になって、公民館や学校との連携をし っかり取りながら、どこに住んでも同じサービスを受けられるよ う、どのような対応体制を取れば可能か等整備前からしっかり検討 させていただきたいと思っております。 複合化についても、図書館機能を第一に考えて、機能の強化を進 めたいと思っております。また職員の部分も、施設規模が大きくなるこ とによる、運営や企画での負担が大きくなることが考えられますの で、整備計画段階から、市民参加で協力を得ながら、検討させてい ただきたいと思っております。</p> <p>次に、須藤委員お願いいたします。</p> <p>私は、機能別面積の目安についてです。建設の段階で、一番いい ところで考えていかれると思いますが、改善していただければ良い なという点をお話いたします。 山形等の図書館等を視察した時に、生まれたばかりの赤ちゃんや 就学前の子供たちを非常に大事にしていると感じました。乳幼児ル ームが必要ではないでしょうか。子供は腰かけに座ってことは不可 能なので、山形では絨毯でしたが、衛生面を考え、畳を敷く方法も あるかと思っております。それから、ベビーベッド等もあると良いのでは ないかと思っております。 メディアスペースについてですが、電子データ閲覧スペースに資 料のコーナー、視聴覚コーナーは音響なので、独立した音が外に漏 れない対応も必要かと思っております。映像を見るためには小さい子は 下で地べたに座って見ると言う形で、高さや段差がある階段的な形 状が良いかと思っております。 対面朗読室それからセミナールームがありましたが、この辺は一 つにして、多目的に利用すると良いのではないかと思っております。</p>
-------------------	---	---

議題・  
発言

私自身朗読の経験もありますが、朗読は何十分、1時間位です。毎日ではないので、様々な活動に使える部屋の方が良いかと思いました。

サポータールームはボランティアの活動の拠点となると思います。市職員や司書だけでなく、市民のボランティアを募っているようなイベントを企画する時等の活動場所となるので、もう少し広くて資料を置いたり、様々な物が置けると良いかと思いました。

多目的ホールは不必要と書きましたが、もし複合施設になる場合はそちらのホールを使い、その分図書スペースや、資料コーナーの場所、新聞雑誌を読む閲覧コーナーを広くとれます。今の図書館も結構年配の方が、新聞とか本を読みながら半日から1日ぐらい過ごされています。そういうふうに退職した後の非常にいいスペースを確保できるようにすると良いのかなと思いました。

それから、新図書館の整備場所についてです。先日の新聞では、迫庁舎や南方庁舎というものが、新聞に出ました。私が新聞を見る前にイメージとしていたのは、例えばですが、祝祭劇場との隣接です。ホールに隣接して非常に広い駐車場がありますし静かです。やっぱり図書館は静かな環境が保たれることが大事です。デメリットは、地盤や水の関係です。

それから、現在の市役所、市民活動センターの中に図書館を入れて複合施設にする場合、これは提案されてると思いますが、まとめることによって今の狭い駐車場が広がります。市の真ん中で皆さんが集いやすい。ただし、デメリットは、市の庁舎と図書館の機能を一緒にすることによって、市役所を訪れる方々が相当錯綜するのではないか、果たして図書館として静かな雰囲気、市庁舎と一緒にした場合、それが保たれるかが一番私は心配しました。

これは絶対不可能だと思うんですが、新しく土地を取得する場合と言うことで考えたのですが、これは難しい問題かなと思いました。

それからその他の意見として、パブリックコメントにしろアンケートにしろ、市民の方図書館に対する要望も大きいですし、すごい熱い熱意を持っての方が多いいということ。少しでも早く実現でき、早期に図書館が建てられることを切にお願いしています。  
以上です。

(議長)  
熊谷市長

畠山委員。

畠山委員

図書館の機能別面積については、日本図書館協会で持っている算定基準数値基準に基づいて将来人口から割り出したのが概ね300～1,500㎡ということ。㎡ありきではなくて、今後どういった機能をどの程度取ればよいか、今委員からも意見があった通り、効率よく、どういうのが必要かも詳細を検討しながら、それぞれ決めていただきたいと思います。

場所については、現在の実行センターの整備の計画の中でも、検討しているとそういう最中がございます。様々な都市計画等の土地利用の計画であったり、様々な法規制の中、経済性もどこが一番良い

議題・  
発言

(議長)  
熊谷市長

のか運営も含めて検討しながら位置は決まっていくようになると  
思いますので、委員の意見も踏まえながら、そういった方向に進め  
ていただきたいと思います。

ただいま4人の委員の皆様方からご意見を頂戴をいたしました。  
非常に貴重なご意見であったと思います。また今日は小野寺委員が  
欠席でございますけれども、資料としては、私の手元に意見は届い  
ておりますので、それも私としてはしっかり参考にさせていただき  
たいと思います。

畠山委員からは、延べ床面積や規模、或いは蔵書冊数等は、非常  
に登米市にあったものであるというご意見をいただきました。職員  
数についてもお話がございました。我々としても、しっかりと練っ  
ていかなければいけないと思います。これについていろんなご意見  
を頂戴できればありがたいと思っております。

大久保委員からは、特に建築・建設にあたってのご意見をいた  
だいたと思っております。当然部長からもお答えしましたように、J  
Aさんも非常にすばらしい社屋を建てたなと私も思っております。  
F S C国際認証材を使うことは、我々にとっても市民全体にと  
っても大きなメリットになりますし、SDGsの精神と合致してく  
るだろうと思います。予算の関係もありますが、できるだけ地元産  
材を使いたい、公共施設に関してはそういうコンセプトを共有をし  
ておりますので、その辺はしっかり検討させていただきたいと思  
います。

佐竹委員のお話でございます。やはり一元化にすると、どうし  
てもこれまで本に親しんできた人達が、少しずつ離れていくのでは  
とのご心配でした。一つの図書館にまとめるということ、そこは一番  
しっかり行わなければならないと思っております。

各町域或いは高齢者の方、子供達が、これまで親しんできた読書、  
図書館整備により読書離れ本離れにならないような対策を考  
えたいと思います。もちろんアプリ等仕組みもしっかり考えてまい  
りますので、これからもいろんなご意見をいただきながら、しっ  
かりと対策してまいります。

須藤委員のお話でございますけれども、機能別面積を目指すとい  
う話をいただきました。図書館構想ができた後、私が市長に就任し、  
出張市長室を行いました。高校生や子育て中のお母さん、高齢  
の方々といろんなお話をさせていただいた中で、特に若い子育て中  
のお母さん方から、図書館が欲しい。小さい子供を連れて行って邪魔  
にならないような図書館にして欲しいということ随分言われま  
した。私は目から鱗でありました。我々の世代の図書館のイメージ  
は、静かに本を読む、静かに勉強する場所であったのですが、若い  
お母さん方もやはりその本を読みたい。いろんな知識を身につけ  
たい。けれども、子育て中でなかなか子供連れとまわりの迷惑になる。  
そんな思いがあったということです。今大崎でもそうした考えを取  
り入れまして、キッズルームのような形を取り入れております。新  
しい図書館を検討している我々も、そうした形を考えていきたい  
と思っております。なお一層のご指導いただきたいと思います。

それから、やはり障害のある方に対するあり方、これも非常に大

<p>議題・ 発言</p>	<p>(議長) 熊谷市長</p> <p>畠山委員</p> <p>(議長) 熊谷市長</p> <p>小野寺政策推 進局長</p> <p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>事だろうと思います。実は私も腰の調子悪くしまして、行政庁舎が障害のある方に優しくない施設だと感じました。これから新しく整備する施設であれば、障害のある方が来やすい、動きやすい施設にすることが課題と私自身も思っております。</p> <p>サポータールーム等そういったスペースも、今後の課題、しっかりととらえていきたいというふうに思います。</p> <p>また小野寺委員の意見は、資料としていただいております。委員も施設には賛成である。予算もあるかと思うが、なるべく早く作り上げて欲しいという、委員皆様と同じようなお話をいただいたと思っております。</p> <p>私からは以上でございます。</p> <p>畠山委員。</p> <p>私に与えられたもう一つの課題は、整備場所についてでした。登米市としては、複合施設として計画をしていきたい。図書館と行政等が一つの施設になる。この複合施設というその考え方によって、図書館が果たして優先され、スピード感もってできるのかと思います。</p> <p>この間の新聞報道のように、地域交流センターというふうな形で、図書館を含めるというのでは、やはりまた何を優先するかとか、そういうことで、設計段階から、かなりの時間を要するようになるのではないのでしょうか。平成 27 年から待ちに待っているこの図書館ですから、スピード感持って、ぜひ進めていただきたいです。</p> <p>力を集結しながら、早めの実現できるよう、そういう体制で取り組んでいただければ。切にお願いしたいと思います。以上です。</p> <p>肝に銘じて、しっかりと対応していきたいと思います。</p> <p>今回の新聞等々で賑わしております地域交流センターの整備を担当しております。</p> <p>今委員からお話がありました通り、地域交流センターについては、今年度から基本構想の検討に着手をする予定としています。実際の建設については、令和 9 年の建設着手を目指しており、令和 9 年～10 年で本体、令和 11 年度以降に外構部分の整備を行いたいと考えており、複数年にわたるプロジェクトです。政策推進室の方では、あくまでも建物を整備をいたしますが、実際の内容いわゆる機能等については、教育部や関係機関とよく調整をしながら、目指す図書館像、基本構想で示している姿を、注視しながら、整備内容を進めて参りたいと考えているところでございます。</p> <p>市民を巻き込んで様々なご意見をいただきながら、よりよい建物、事業推進を図っていきたくと考えているところでございます。</p> <p>他にご意見は、ございませんか。</p>
-------------------	--	---

